

## 「機械の日」イベント

### 「川越まつり山車ロボットコンテスト」実施報告

「機械の日」のイベントの一環として、2010年10月17日（日）13:00から川越まつり山車ロボットコンテストを開催した。

本コンテストは、埼玉県川越市で毎年開催される川越まつりにちなんだロボットコンテストであり、高校生・中学生を対象に、科学技術への興味を抱いてもらい、伝統文化の理解を深めてもらうことを目的として、2006年から開催している。5回目となる2010年大会は、川越まつり期間中に、まつり会場近くの川越市産業観光館ギャラリーで開催され、26名の高校生・中学生が参加した。

コンテストでは、山車に見立てた自律ロボットが競技コースの決められたエリアに移動したときに演技をおこない、そのときの動作の正確性や安定性といった技術性と、ロボットの装飾の美しさや演技の面白さといった芸術性を競った。今年は、単独競技、複数競技に加えて、新しい種目である団体競技をおこなった。

高校生・中学生の参加者は、入念にロボットの設定やプログラムを調整し、競技に臨んだ。今年は工業高校の参加者が多かったためか、例年になく安定して演技をおこなうロボットが多かった。また、本コンテストは、技術面だけでなくモノ作りの楽しさを学んでもらうために芸術性も評価の対象としている。そのため、山車や御輿、獅子舞など日本の伝統的な装飾をしたロボット、鈴や太鼓などで音を奏でるロボットなど、バラエティに富んだロボット達が競演した。川越まつりに来ていた大勢の人達にも観戦して頂き、応援して頂いた。

山車ロボットコンテストを通して、若い世代の人達にはロボット技術の楽しさを体感してもらい、また、普段はロボットになじみのない方々にもロボット技術に興味を持って頂けた。今後も若い世代に科学技術に興味を抱いてもらえるよう活動を続ける予定である。



日時 2010年10月17日（日） 13:00～17:00

場所 川越市産業観光館ギャラリー

参加者 参加者 26名、観客 90 合計116名

（報告 東洋大学・山田和明）